

対馬市へスタディーツアー

8月5～7日 中学生対象、環境問題学ぶ

宇部市、市地球温暖化対策ネットワークは、中学生を対象に環境問題について理解を深める長崎県対馬市へのスタディーツアー（8月5～7日）の参加者を募集している。

同ツアーは2012年に宇部市で開催された「地域から持続可能な社会をつくる〜中国・九州地区環境先進自治体首長サミット」において、参加した熊本県の水俣市、対馬市、宇部市の3市長が地域から持続可能な社

会づくりを行う共同宣言をしたのをきっかけにプログラムの一つとして毎年、実施している。13年度は宇部市の小学生が水俣市、対馬市を訪れ、14年度は水俣市から中学生、対馬市から小学生が

宇部市を訪れ宇部方式などについて学んだ。今年度は宇部市の中学生が対馬市で国の天然記念物ツシマヤマメノコの状態を学んだり、大陸への窓口である韓国展望所や対馬歴史民俗資料館、国

際、ごみの漂着海岸などを視察する。

対象は市内の中学生10人程度。参加費は2万円。締め切りは7月3日で、応募多数の場合は抽選となる。ツアーのチラシは全中学校に配布しており、裏面の参加申込書に必要事項を記入し、市地球温暖化対策ネットワークへファクス（050-1298-4065）する。

ひとつくろ財団主催。

ひとつくろ財団主催。テントに宿泊し、基地づくり、夏山の散策、バーベキュー、クラフト製作などを楽しむ。時間は25日午前10時から26日午前11時半まで。

対象は、小学生以上の子供を含む10家族40人程度。参加費は、26歳以上が2000円、19歳以上25歳以下が1800円、19歳未満が1700円。締め切りは7月10日。問い合わせと申し込みは同家（電話0833-958-0033）へ。